



白馬童子

糸魚川市立糸魚川小学校

学校だより 第3号

令和5年6月22日

TEL:025-552-0042 FAX:025-552-1304 E-mail:itosyo@itoigawa.ed.jp

(HP)<https://www.itoigawa.ed.jp/itosyo/>(携帯)<http://itoigawa.ed.jp/itosyo/otayori/i/>

ありがとうの花

校長 富永 浩文

6月の到来とともに、暑い日が多くなりました。開け放たれた各教室の窓から、新鮮でさわやかな風が入り、子どもたちをなでながら通り抜けていきます。その風に乗って、4年生の教室から軽やかな歌声が聞こえてきます。昨年のわかばコンサートで、手話を交えて披露してくれた「ありがとうの花」です。とても素敵な歌で、何度聞いても「ジーン」と胸が温かくなります。



保護者ボランティアの皆様 ありがとう

「ありがとう」という「感謝」の言葉をかけると、相手だけでなく、自分にも幸せがくると言われます。これは、昨年の学校だよりでもふれました。(R5.1.25 「そ・わ・か」で、3学期も「やさしく ゆたかに たくましく」) 学校では、子どもたち同士、子どもたちと職員、職員同士の間で「ありがとう」の言葉が頻繁に交わされます。運動会の閉会式でも、応援団長さんが、各軍の人たちや保護者の方、地域の方、職員への感謝の気持ちを述べていました。たくさんの「ありがとうの花」が、学校じゅうで、家庭や地域で咲くといいなと思います。

先日の朝、登校してくる子どもたちを待っていると、遠くの方で、ある登校班の子どもたちが一所にとどまって固まっていた。どうしたのかなと思い、しばらく見守っていました。そのうち、いつもお子さんを送り出してくださる保護者の方が、子どもたちに何か話しかけていました。程なくして子どもたちは再び歩き出し、あいさつをしながら校門をくぐっていきました。

ほぼ全ての子どもたちを迎えて、最後の班の子どもたちが来るのを待っていました。すると、先ほどの保護者の方が、私のところに來られて説明されました。お話から、1年生の女の子の「毛止め」が側溝に落ちてしまい、拾うことができず途方に暮れていたこと、それを知り、子どもたちを先に行かせ、その後苦勞の末、拾ってくださったことがわかりました。手には、かわいい毛止めが大事に握られていました。その子の保護者の方によって、丁寧に名前が書かれていました。

苦勞して拾い、届けてくださった保護者の方の優しいお気持ちがうれしくて、「ありがとうございます。届けます。」と、お礼を言いながら受け取りました。保護者の方も、「良かったです。ありがとうございます。」と、笑顔でした。「ありがとうの花」が咲いた気がしました。傍らでは、はんこ屋さんのサツキの花も満開でした。うれしい気持ちで、持ち主が待つ1年生教室に届けました。

♪「ありがとうって言ったら みんなが笑ってる その顔がうれしくて何度もありがとう 街中に咲いてる ありがとうの花 風に吹かれ 明日に飛んでいく ありがとうの花が咲くよ きみの街にも ほらいつか ありがとうの花が咲くよ みんなが笑ってるよ※」2階から風に乗って聞こえてくる歌声に勇気づけられながら、気持ちの良い、幸せな一日が始まりました。

※坂田おさむ 作詞・作曲「ありがとうの花」より